

以下の文章は、3年生の始業式(5/22)で述べたものである。1・2年生にも3年生の現在の状況を理解してほしいので、掲載する(PART II)。

次は、夏の甲子園の中止について。これも、関係者にとってショックが大きすぎる。私も、関係者に言葉を掛けたいが、掛ける言葉が見つからないので、野球関係者の言葉(馬淵史郎監督「朝日新聞デジタル 5/21」)を紹介(一部抜粋)する。

世の中に出て、いろんな苦しいことがあった時に、
耐えていける精神力をつけるというのが、高校野球なんや。
こういう苦しい時ほど、人間は試されるんで。
甲子園だけがすべてじゃないんやから。
全員が気持ちを切り替えてやっていかないと。
それでも、最後まで同じ仲間とグラウンドでやれた、というのが財産やから。
今、ぱっといい言葉が出てこないけど、自分も高校野球やった人間やから。
でも、俺らは負けて、それで高校野球に区切りをつけたんや。
それがない分だけ、つらいわな。気持ちはよう分かる。

10年、20年経って、
「あの時、自分らの代は甲子園がなかった。試す場所がなかった」ということ
が、きっと役に立つ時がある。
これで気持ちを切り替えるのは、難しいかもしれんが、
次のステップにみんな進んでいくことにしよう。

わしからは、気持ちを切り替えてくれとしかいいようがない。
頑張ってやれよ、こっからだぞ。こっからが出发点だ。終わりじゃないよ。
こっから出发点だ。気持ちを切り替えてやっていけよ、ええか。

今日は、部活動生に関わる話をしたが、部活動生以外の生徒にも共通して言えることがある。それは、今、皆さんが真剣に取り組んでいることは、一人ひとり違うかもしれないけれど、「前を向いて」、「あきらめず」に進むことが大事なんだ!

沖縄県高校野球連盟は、5月23日の臨時理事会で県独自の大会を開催することを正式に決定した。これで、球児のこれまでの取組を発揮できる場ができた。